

# 女らしく? 男らしく? 自分らしく!

ジェンダー・フリーでいこう! -子ども編-

よく「女らしさ」や「男らしさ」って言うけれど、どういうことなのでしょう。生まれたときは、性別なんて意識していないはずなのに、いつのまにか「女だから」とか「男だから」とそれぞれを分けて考えれませんか。子どもたちのいろいろな活動場面から、どのように男女の「らしさ」がつくられていくのかを一緒に考えてみましょう。

## ★男の子は泣いちゃダメ!?

ころんで泣き出した女の子には、「よしよし」とあやすのに、男の子だと「男の子でしょ、泣いちゃダメ」と、しかってしまふ。



## ★女の子はいつも「あと」!?

出席簿や名前を呼ばれるとき、いつも男の子が先で、女の子があとになっている。



## ★手伝いは女でちがうの!?

男の子には力仕事、女の子には掃除などを頼んでしまいがち。



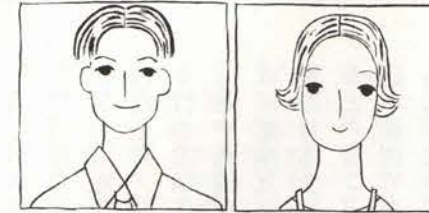
## ★リーダーは男の子!?

生徒会長や学級委員は男の子で、女の子は副会長などの補佐役が多い。



「男」という性別によって、できることを分けてしまうことが、子どもの個性の芽をつんでしまったり、いつのまにか、「性別により役割を分担する意識」や「男の上下関係・主従関係」を刷り込んでいくこともあるのです。

※ジェンダー・フリーとは、「女はこうあるべき、男はこうあるべき」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、ジェンダー(社会的・文化的に形成された性差)に気づき、解消していくことです。



近年、女性の社会活動への参加意欲が高まっており、職場や地域、また、国際交流の場などにも、その活動分野の拡大が進んでいます。

しかし、政策・方針決定の場では、女性の参画が十分とはいえません。職場や地域では、男女の役割分担に対する偏った意識や評価が残っているなど、女性が社会活動に参加しにくい状況があり、また、女性がそのことを回避する傾向があります。

豊かで平和な社会を築いていくためには、家庭・職場・地域など、あらゆる分野に男性と女性が共に主体的に参画し、相互の意見を反映させていくことが大切です。そして、女性が地

留萌市では、平成15年2月に『女性と男性が共に育つ未来への責任』を策定しました。このプランの体系について紹介します。

域活動や社会的意識決定の場で、男性とともに重要な役割を果たせるよう、女性の参画や登用を促進することが必要です。

留萌市では、男女共同参画社会の実現を目指して、「男女平等参画の未来プラン」を策定しました。

※参加と参画の違い  
「参加」は、仲間に加わること。「参画」は、単に参加しているだけでなく、積極的、主体的に参加するという意味で、捉えられています。

問合せ  
女性青少年室 ☎42・0435

## ★ 男女平等参画の未来プランの体系 ★

